

事業所における自己評価結果(公表)

実施年月:令和 2 年 3 月

公表:令和2年 4 月 日

事業所名 児童発達支援BAMBOOHAT KIDS深谷駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		指定基準以上のスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	7		人員基準以上の職員を配置しています。 基本的に、1:1以上の支援を実施しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		事業所内は、バリアフリーになっています。 発達障がい、知的障がいのお子さんを対象としているため、段差を活用したスキル確認や絵カードなどを用いて視覚的な配慮をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		個別のスペースで活動し、個々に合わせた支援グッズやおもちゃを用意して支援を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		業務開始時と業務終了後のミーティングにて、目標設定及び評価を行い、情報共有を図っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者向けのアンケート調査を実施し、保護者の声を周知させ改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		支援の質や評価、改善の内容等を法人のホームページ及び事業所のブログ等で公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	法人の運営経営についての第三者による評価を行っています。 事業所については、未実施です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		資質の向上を目的とし、事例検討による研修を日常的に行っております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		定期的なアセスメントを行い、保護者のニーズを踏まえた計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		子どもの特性やADL、IADLの情報をまとめ、全員が把握できるようにしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		支援に必要な項目を選択し、支援方針について具体的な方法を設定して実施しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		日常的に支援計画の振り返りを行って支援しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		過去の支援状況を踏まえて、今後のプログラムを決めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		個々の支援の進捗状況を常に記録しながら、固定化しないプログラムで活動しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		当事業所では個別活動のみを実施しております。お子さんの様子に応じて、小集団活動のできる同法人内の事業所を案内しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		開始前には必ずミーティングを実施し、前回の課題を踏まえた支援の確認や役割分担、注意事項等を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終了後には必ずミーティングを実施し、支援の振り返り、次回の支援準備等について情報共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		支援記録を毎回記録しています。活動内容、個別の課題等の記入欄のほか、行動の回数記録表などを用いて支援の検証・改善を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		年2回のモニタリングの実施と計画を見直しをしています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		管理者及び児童発達支援管理責任者が中心となり、参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		保育園や保護者より相談いただいた場合、保育園の面談等に参加させていただき、支援内容、状況等をお伝えしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	発達障がい、知的障がいのお子さんを対象としているため、医療的ケアが必要なお子さんの利用が現在はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	2	発達障がい、知的障がいのお子さんを対象としているため、医療的ケアが必要なお子さんの利用が現在はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5	今までに移行支援を行ったことがありませんが、今後、移行支援を行う場合には、支援内容などの情報共有を図っていききたいと思います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5	今までに移行支援を行ったことがありませんが、今後、移行支援を行う場合には、支援内容などの情報共有を図っていききたいと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	発達障害者支援センター主催の研修を定期的に受講しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	個別支援を行っているため、現在は設けていません。今後、検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に当日の支援内容やできるようになったことなどを報告し、保護者からも状況をおう
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	保護者の方に支援の様子をモニターを見ながら解説させていただく機会を設けています。今後は、ペアレントトレーニングを実施していく予定です。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約の際に、ご説明しています。 運営規定は、玄関入口に常設もしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		児童発達支援計画の支援内容の説明及び同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		モニタリングの時期のほか、保護者から相談があった場合には、相談の機会を用意し、できる限りの助言や支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	現在は実施しておりませんが、保護者向けのミニセミナーや講演会を実施しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談や申入れがあった場合には、速やかに体制を整備したり、面談の機会を設けるなどの対応をしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		一斉メール配信で連絡体制を整え、ホームページ、フェイスブック等で活動の内容を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		鍵を施錠できる場所に保管など、注意して対応しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		お子さんとは絵カード等を用いて言葉を促すなど意思の疎通が図れるように支援を行い、保護者とは送迎時、連絡帳、必要に応じて電話などで支援状況などをお伝えしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	現在は実施しておりません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		策定し、職員がすぐに手に取れるところに設置しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		まだ実施しておりませんが、開所から1年以内に実施する予定です。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		契約時にお子さんの状況を確認させていただいています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		保護者からの情報で対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	取り組んでいます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待を防止するための研修に参加した職員を配置しています。また、今後も研修には積極的に参加し、事業者内にはモニターカメラを設置し、防止に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	4	必要性がないと感じていたため、特別に取り組んでいません。今後、その可能性がある場合には、保護者と相談して適切に対応していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。